



蔦屋重三郎と 歌麿、写楽



今年の大河ドラマの主人公・蔦屋重三郎（1750-97）は、浮世絵版画の版元として喜多川歌麿（1753-1806）や東洲斎写楽（生没年不詳）などの絵師を育てました。「蔦重」の仕事と彼が育てた2人の絵師について紹介します。

すがわら まゆみ
講 師：菅原 真弓 さん

（大阪公立大学 大学院文学研究科文化構想学専攻／
文化庁文化構想学科 教授）

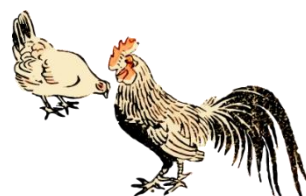
日 時：8月24日（日） 午後2時～午後3時30分

場 所：中央公民館 視聴覚ホール

定 員：先着50名（町内在住・在勤の方優先）

受講料：無料

申 込：7月1日（火）より中央公民館窓口または、
電子申請にて受付



↑電子申請フォーム

※8月1日（金）以降は空きがあればどなたでも申込みいただけます。

＜講師プロフィール＞

菅原 真弓さん（大阪公立大学 大学院文学研究科文化構想学専攻／文化庁文化構想学科 教授）
1999年、学習院大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士後期課程単位修得退学。中山道広重美術館学芸員、京都造形芸術大学（現京都芸術大学）、和歌山大学勤務を経て、2017年より大阪市立大学大学院文学研究科教授。大学統合により、2022年より現職。

※手話通訳及び要約筆記が必要な方は、7月31日（木）までに中央公民館（FAX：072-766-8345）にお申込ください。

【申込・問合せ】猪名川町中央公民館 TEL：072-766-8432